



さくら

苅田町青少年育成町民会議だより



ふれあいコンサート



みんなで歌おう

二月十一日、中央公民館大ホールで「みんなで歌おう」を開かれました。このコンサートは町民会議が児童の活躍とふれあいの場を増やすことを目的に企画したもののです。

第一部の手づくりコンサートでは、町内の小学生四組八人が得意のピアノやたて笛などを披露しました。

第二部のゲストコーナーでは町内外で活躍しているかんだ少女少女合唱団「パンジー」やシルバーコーラス「銀の鈴」が合唱。続いてアンデスの民族音楽グループ「インティ・ワタナ」が「コンドルは飛んで行く」などを演奏。観客のみなさんを、アンデス音楽独特の音色で魅了しました。

第三部ではステージと客席が一体となって「うれしいひなまつり」など三曲を合唱しました。コンサートに先立ち青少年健全育成ボスターとオアシス運動の優秀作品の表彰が行われました。(入賞者は5ページに掲載しています。)

変質者から 子ども達を 守るために

最近、変質者が町内にひんぱんに現われて、女子中学生や小学生に強引に近づきます。変質者は乗用車や自転車に乗り、大胆にも日中、住宅地に現われ、複数の人物が別々に行動しているようです。

苅田町青少年育成町民会議では、2月17日、補導環境部会と生徒指導研修部会が合同研修会を開きましたが、その際に変質者対策について話し合いました。町民のみなさんにも次のことをご協力お願いします。

①町民一人ひとりが、子ども達を変質者から守ることを常に心がけてください。

②不審な車や人物を見かけたら車のナンバーや人物の特徴などを覚えて、学校や教育委員会へ連絡、110番通報などをしてください。ご協力お願いします。

③子ども達が助けを求めてきたら手をかしてやってください。

④子どものいるご家族では「変質者から身を守るためにはどうしたらよいか」について必ず子どもと話し合ってください。特に▶女子の一人での外出、夜間外出は危険ですから充分注意する▶下校時など人通りの少ないところはなるべく避ける▶さそわれたり、道案内を頼まれても車に乗ったりしない▶危険を感じたり、不審な車や人物を見たら近くの人に知らせ、助けを求める。

苅田町、苅田町教育委員会、苅田町青少年育成町民会議



家庭部会シンポジウム

小・中学生と保護者が 「家族の団らん」をテーマに発表

平成八年十一月二十三日、北公民館で、苅田町青少年育成町民会議家庭部会主催の家庭部会シンポジウムが開かれました。（司会・榎憲一郎社会教育指導員）

「子どもの願うもの、家族の団らんや共通体験を積極的にすこしをテーマに、町内の小中学生の代表八人と保護者二人が発表。「毎日会っているからこそ団らんが大切」「平日のすれちがいが多いので、日曜日を大切にした」と話しました。

その後、助言者の福岡県教育津中保護者（苅田小保護者）蔵内喜代美（新

平成八年十一月二十三日、北公民館で、苅田町青少年育成町民会議家庭部会主催の家庭部会シンポジウムが開かれました。（司会・榎憲一郎社会教育指導員）

「子どもの願うもの、家族の団らんや共通体験を積極的にすこしをテーマに、町内の小中学生の代表八人と保護者二人が発表。「毎日会っているからこそ団らんが大切」「平日のすれちがいが多いので、日曜日を大切にした」と話しました。

その後、助言者の福岡県教育津中保護者（苅田小保護者）蔵内喜代美（新

山香町 町民会議を 研修視察



三月一日、苅田町町民会議は、大分県山香町を視察しました。山香町は町ぐるみで毎年充実した青少年の育成事業を行っており、総務庁からも表彰を受けています。両町民会議で活発な意見発表と意見交換を行い、熱気に満ちた研修を終えました。

町民会議の1年間

青少年のすこやかな成長を願つて

5月



総会

7月

健全育成講演会



6月



ふれあい
ウォークラリー



1月

凧づくり教室



7月

いじめストップ
キャンペーン

苅田町から18人が入賞

福岡県子ども会連合会主催

健全育成ボスターコンクール

このほど、福岡県子ども会連合会主催の青少年健全育成ボスターコンクールが開かれました。町内小中学校からは約六百点の応募があり、次の方々が入賞しました。（敬称略）

●福岡県教育委員会賞 川野佳奈（馬場小4年）

●麻未（片島小6年）

●銀賞 北原初江（苅田中2年）
奥村和之（新津中2年）

●神幸希（与原小5年） 和嶋理沙（苅田中2年）

●佳作 岩永健太（新津中3年）
川上智香（新津中1年） 島田あ

すか（苅田小6年） 荒尾恵利（苅田小6年） 田部かな（南原小6年） 上坂早織（新津中3年） 田

中裕（新津中3年） 平元晴美（新津中3年） 宮城奈菜美（新津中3年） 吉井美香（新津中3年） 中安真知代（新津中3年） 木村昌子（新津中3年）

※以上の方は三月三十一日、福岡県社会教育総合センターで表彰されます。



ふれあい

インタビュー

5

今回は苅田工業高校インター
アクトクラブ顧問の田代裕二教
諭に話を伺いました。

①会の目的は

個人の価値を認める考え方にして、立脚して家庭と家族を大切にし、地域社会、国家および世界の問題についての知識と理解を深め、いろいろな行動を通して、個人のため、他人のため、地域社会のために寄与していくことです。

②会の活動の内容は

ロータリークラブの支援のもとにさまざまな活動を行っています。

③会の現況は

現在部員は十二人で、毎月第一、三土曜日の午後、町内のロータリアンも交え、今まで行つてきた活動の反省や感想、これから行う予定の活動についての話し合い等を行つています。今は四月二十九日に開催されることになっている一九九六年一九九七年度国際ロータリー第二七〇〇地区インタークラブとして、その会を成功させようと、部員一同毎日遅くまで準備に取り組んでいます。

部した当時はただ一人の一年生部員だったのですが、今では部員数も増え心強くなりました。入部して一番感じたことは他人のためには何かをしてあげているのではなく、すべて自分のためにしているのだということです。三月に先輩が卒業していった今、先輩の後を引き継いで、様々な活動に取り組んでいきたいと思います。

子どものことで困ったら436-1152

●相談日時 每週月・水・木・金曜
(祝祭日を除く)午前9時~午後4時
30分

※相談は電話相談、面接相談のどちらでも受け付けます。

※秘密は固く守ります。

青少年教育相談室(三原文化会館内)



「インタークラブ」
に入部して
（苅田工業高校機械科二年）
幸田 慎司



築いていますか
暖かな家庭



第3日曜日は
家庭の日

苅田町青少年育成町民会議主催

健全育成ポスター オアシス運動作品入賞

2月11日、ふれあいコンサートに先立ち健全育成ポスターとオアシス運動作品の入賞者を表彰しました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

健全育成ポスター入賞者

▼会長賞：川野佳奈（馬場小4年）
 年）▼教育委員会賞：山下ひとみ（苅田小6年）
 原圭（与原小3年）森川愛弓（与原小5年）
 原小2年）井本巴（与原小6年）
 ▼銅賞：永松奈美（馬場小2年）
 春瀬博一（与原小4年）▼佳作：島田健一（苅田小6年）金丸奈央（馬場小2年）己斐正和（南原小5年）塚崎由里子（南原小6年）白川千明（南原小6年）杉原正恵（馬場小4年）永田直行（苅田小2年）柳田あかね（苅田小6年）福島徹（馬場小5年）

オアシス運動作品入賞者

▼会長賞：綾奈津季（新津中1年）
 年）▼教育委員会賞：奥田美由紀（新津中3年）▼金賞：木村昌子（新津中3年）村上めぐみ（新津中2年）▼銀賞：平林佳子（新津中2年）

小学生の部

▼会長賞：川野佳奈（馬場小4年）
 年）▼教育委員会賞：山下ひとみ（苅田小6年）
 原圭（与原小3年）森川愛弓（与原小5年）
 原小2年）井本巴（与原小6年）
 ▼銅賞：永松奈美（馬場小2年）
 春瀬博一（与原小4年）▼佳作：島田健一（苅田小6年）金丸奈央（馬場小2年）己斐正和（南原小5年）塚崎由里子（南原小6年）白川千明（南原小6年）杉原正恵（馬場小4年）永田直行（苅田小2年）柳田あかね（苅田小6年）福島徹（馬場小5年）

オアシス運動作品入賞者

▼会長賞：綾奈津季（新津中1年）
 年）▼教育委員会賞：奥田美由紀（新津中3年）▼金賞：木村昌子（新津中3年）村上めぐみ（新津中2年）▼銀賞：平林佳子（新津中2年）



▲表彰式の様子

オアシス運動作品入賞者

▼会長賞：伊森かんな（南原小6年）
 年）▼銅賞：松蔭恵理香（南原小6年）
 円（新津中2年）日隈菜美（新津中2年）川上智香（新津中1年）牟田望（新津中2年）青木有未（新津中2年）浦田裕子（新津中3年）川上智美（新津中3年）

作文の部

▼銀賞：伊森かんな（南原小6年）
 年）▼銅賞：松蔭恵理香（南原小6年）
 円（新津中2年）日隈菜美（新津中2年）川上智香（新津中1年）牟田望（新津中2年）青木有未（新津中2年）浦田裕子（新津中3年）川上智美（新津中3年）

評語の部

▼会長賞：国松さゆり（与原小2年）
 年）▼教育委員会賞：木村由佳里（馬場小4年）▼家庭部会賞：神幸希（与原小5年）▼金賞：伊森かんな（南原小6年）
 吾（苅田小）▼銀賞：おがたあくや（与原小）▼家庭部会賞：神幸希（与原小5年）▼金賞：伊森かんな（南原小6年）
 とくとみりえ（馬場小）▼金賞：和嶋理沙（苅田中2年）井ノ口和嶋理沙（苅田中2年）井ノ口

習字の部・1年

▼会長賞：ふじむらなみ（与原小2年）
 年）▼教育委員会賞：おかだたかや（与原小）▼家庭部会賞：木村由佳里（馬場小）▼佳作：八木ひろし（馬場小）▼銅賞：木村由佳里（馬場小）▼佳作：進あやの（南原小）

習字の部・4年

▼会長賞：山田ゆかり（馬場小4年）杉原正恵（馬場小4年）下窄茜（馬場小4年）堤直子（馬場小4年）川野佳奈（馬場小4年）

習字の部・5年

▼会長賞：灰崎晃二（苅田小）
 年）▼教育委員会賞：灰崎晃二（苅田小）
 神幸希（与原小）▼家庭部会賞：木浦祐子（南原小）▼家庭部会賞：木浦祐子（南原小）
 銀賞：片山智佳子（馬場小）▼銀賞：片山智佳子（馬場小）永田千紘（与原小）▼銅賞：浅野さやか（南原小）▼佳作：今田智子（苅田小）

習字の部・6年

▼会長賞：大森尚在（馬場小）
 年）▼教育委員会賞：宮崎美智子（苅田小）内田明日香（与原小）
 小）▼家庭部会賞：星野友美（与原小）
 小）▼金賞：河野なぎさ（南原小）
 賞：守直子（馬場小）▼銅賞：井本巴（与原小）▼佳作：宮田万梨子（苅田小）中村佳代（白川小）

習字の部・3年

▼会長賞：上畠佳大（南原小）
 年）▼教育委員会賞：藤岡良成（南原小）
 原小）▼家庭部会賞：弘中亞衣（馬場小）ふるともさやか（苅田小）

青少年教育相談Q&A

ご利用ください 福岡県立 ふれあいの家

ふれあいの家は豊かな自然環境の中での野外活動や多様な学習を通して、健全な青少年育成のために設置された、宿泊もできる研修施設です。

●利用できる人 原則として5人以上の団体で、指導者または責任者がいる場合に利用できます。

●利用手続き ①利用申し込みについては、直接各施設に電話でお願いします。申し込み者が多い場合には先着順で利用者を決定します。②電話で申し込んだ後、できるだけ早く利用申込書を提出してください。利用申込書は、各教育事務所、触れ合いの家、または役場社会教育課に用意しています。③申し込みの受付は、4ヵ月前に当たる月の初日から行います。④利用を取り消す場合や人数・日程などに変更がある場合は、早目に連絡してください。

●食事 食事は各自で準備してください。(調理用具や食器類は準備しています。)

●必要な経費 宿泊料金・施設設備の使用料については無料です。ただし、シーツのクリーニング代(1人140円程度)が必要です。

●ふれあいの家の所在地と電話番号

▶ふれあいの家北九州=北九州市八幡東区帆柱町7丁目皿倉(☎093-662-5668)

▶ふれあいの家南筑後=八女市大字山内1268-9(☎0943-22-7087) ▶ふれあいの家北筑後=浮羽郡田主丸町大字森部1299-2(☎09437-3-3337) ▶ふれあいの家京築=築上郡大平村大字下原2334(☎0979-72-4657)

*くわしくは、各ふれあいの家まで。

編集・発行
苅田町青少年育成町民会議
総務部会すこやか編集
内線390

（S・N）

このように誰もが気軽に参加できる行事を、今後も開催していきたいと思っています。

学校における「いじめ」が相変わらず大きな社会問題となっています。苅田町青少年育成町民会議では「いじめストップ」をめざして、どのような取り組みをしているのでしょうか。

A

Q

ストップは当面する重要な課題であるので「いじめストップ」を平成八年度の重点目標にしました。

○平成八年六月二十八日「いじめ防止協議会」を設置しました。

「いじめは絶対に許されない」をスローガンに会員全員で取り組む体制をつくりました。

○九月を「いじめストップ強調月間」と定め次のような「いじめストップキャンペーン」を実施しました。▼いじめストップを呼びかけるけん垂幕や横幕、看板をつくり掲示しました。▼広報車による町民への呼びかけ、パレードによる街頭啓発を行いました。その際、啓発チラシや看板をつくりました。▼

町民会議では一人でも多くの方がいろいろな行事に参加してくださることを願っています。

多くの方の参加によって、子どもたちとのふれあいが深まり、心が通じあうことができると思うのです。

◆

町民会議は青少年の非行防止と健全育成を大目標にして実践活動を行っていますが、いじめ

師には九州大学健康科学センターの藤原勝紀教授を招きました。また、シンポジウムでは家庭の「団らん」「共通体験」をテーマに親と子どもが話し合いをしました。家族の団らんや共通体験は、いじめ防止と深くかかわっています。

○ふれあいを重視し、子ども自身が活動する事業の開発につとめました。新規事業として「ふ

れあいコンサート」を実施しました。これは子どもからお年寄りまで気軽に参加して音楽を楽しみふれあいを深めるものです。

この外にふれあいを深める行事としては▼ふれあいウォークラリー▼オアシス運動▼風作り教室▼風揚げカーニバルを実施約三百人が参加しました。

止の徹底を図りました。○平成九年一月二十七日、いじめなくす県民の集いに代表者が参加しました。

○町民会議主催の講演会や研修会では「いじめ」と「登校拒否」の問題をとりあげました。

した。これは子どもからお年寄りまで気軽に参加して音楽を楽しめた。このことは、ふれあいを深めることができます。

▲編集後記

町民会議の行事もある程度、町のみなさんに定着していっているようです。

これまでウォークラリーや風揚げ大会のような戸外で活動する行事を開いてきましたが、今年度は視点を変えて、家庭部会が第一回ふれあいコンサートを開きました。学校や家庭で音楽に親しんでいる児童が、中央公民館に集まり、ピアノや笛の演奏を披露。参加者全員で合唱するなど、みんなで楽しめる手づくりコンサートとなりました。

